

今を未来に

3年生 大豆の収穫を体験しました。11月28日

7月に種まきをした大豆を収穫させてもらいました。収穫は、齋藤悟さん（コミュニテースクール委員）の畑でさせていただきました。今年、台風の塩害、カメムシの害虫被害、10月の日照不足（長雨）による病気が出て、普段に比べると大きさも足りなくて、機械で収穫した大豆をみささせていただくと、小さいものやしわしわになっているもの、黒いもののがかなり混ざっていました。大豆農家の方は、収穫しても品質の悪いものは選別しなければならないので、大変になってみえるそうです。



そんな中でもできのいい、畑の中でも日当たりがよく水はけのよい場所で育った大豆を収穫させていただきました。また、大豆専用のコンバインも動かしていただき、収穫する前の部分が、畑の起伏を自動によみとり、上下しながら収穫していく様子、コンバインの後ろから殻だけが飛び出していく様子を、見させていただきました。この日は、30分休みをかけ足があり、3Aの子どもたちは聖十字訪問もあったため、齋藤さんにはいつもの半分くらいの時間で、いろいろ教えていただき、子どもたちの質問に答えてもらいました。

保々地区保育園・幼稚園の年長さん・小学校6年生・中学校3年生

ミニコンサート（音楽交流会）を実施 12月4日

12月4日（月）の13：05から、保々小学校の体育館で、保々保育園・幼稚園の年長さんと本校の6年生、保々中学校の3年生が参加して、ミニコンサート（音楽交流会）がありました。

司会進行は中学校3年生の人が担当し、場の雰囲気柔らかくするために、「やきいもジャンケン」から始まりました。保育園や幼稚園の子は、何をするかわかりますか？と聞かれると「やきいも」と言っていたので、おそらくやり方も聞いてきたのだと思います。勝った・負けたで大騒ぎでした。次に、中学生が「バムとケロの空の旅」の絵本を読み聞かせしてくれました。3年前に卒業した卒業生ですが、どの子も当時とは違って、絵本の読み聞かせで楽しんで欲しいという気持ちで、ある意味開き直って、読み聞かせをしてくれました。

そして、いよいよ音楽交流です。トップバッターは6年生でした。曲は4年生の時に三泗音楽会で歌った「10歳のありがとう」の歌詞をアレンジして、「6年間のありがとう」でした。「入学式から6年目」で始まる歌は、友達のこと、給食や学校行事のこと、いろいろな出来事を思い起こす歌詞になっていました。三泗音楽会の時を思い出したのか、体が自然と揺れる子が多くいて、懐かしく思いながら聞かせてもらいました。



次は、中学校3年生の合唱でした。曲は「そのままの君で」「サンタルチア」「あなたに会えて」でした。歌声の力強さやハーモニーの美しさは、6年生児童にとって、本当によいお手本であったと思います。特に、最後の曲は混成3部合唱で、小学校では経験のない合唱で、最後の感想で「自分も中学校へ行ったら、中学生のみなさんのよう

に歌えるようになりたい。」と言った代表の子の気持ちはとてもよくわかりました。

最後は、保幼の年長さんの出番です。小学生・中学生の方を向いて、元気よく「山のおんがくか」を歌ってくれました。自分が出せる精一杯の声をどの子も出そうとしている様子でした。

見学に来てくださった保護者の方から「それぞれの子どもたちの成長の違いがわかっていいですね。」と声をかけていただきました。体育館を退場する時に小中学生によるアーチを保育園・幼稚園の子がくぐって退場したり、小中学生が向き合って感想とお礼の気持ちを伝え合う場面も見られて、そのように感想を伝えていただいたのだと感じました。子どもたちはと言えば、中学生の歌声に多少圧倒された感じがしましたが、その姿は「あこがれの先輩」と感じたのではないのでしょうか。教室へ帰ったら「自分たちが一番声が小さかったかなあ。」と話をしていました。



5年生 社会見学に行ってきました。12月5日

全学年の最後となりましたが、5年生が社会見学に行ってきました。見学先は、鈴鹿の本田技研工業に始まり、鈴鹿市伝統産業会館、AGF鈴鹿株式会社と続きました。朝の渋滞を予想して、学校に着いた子どもたちはすぐに朝礼台前に集合し、予定より早く学校をスタートしたかったのですが、少し予定時刻を過ぎて出発し、本田技研工業に着いたのは、予定通りの時刻でした。本田技研工業ではまず自分たちが乗ってきたバスを使い、工場内を案内してもらいます。バスで回るほど工場は、ナゴヤドーム18個分と大変広い敷地だからです。その後、一つのラインを歩いて見学させていただきました。本田の特長として働く人が働く人の目線で業務改善の意見を出し、それがどんどん反映されていくというところにあります。自動車産業の最先端の工場を見学することで、日本の産業の発展の歩みや技術の高さを感じることができたと思います。

次に見学したのは、鈴鹿市伝統産業会館で、ここでは鈴鹿墨と伊勢型紙の歴史や製造過程をビデオや展示での見学をさせていただきました。どの子も担当者の方のお話をしっかりと聞き、ビデオも見て、気づいたことをメモしていました。先ほどの自動車工場とは違って、いわゆる伝統文化の見学となったわけですが、その繊細な作品に、とても興味を持っている子が多くいました。

その後、この時期にしては冷たい風が吹く中でしたが、昼食をとりました。風をよけるようにみんながいつもより寄り集まってお弁当を広げている様子が見られました。寒さに負けぬよう、公園を元気に走る子どもたちもいました。朝早くからのお弁当、本当にありがとうございました。

そして、最後の見学先はAGF鈴鹿株式会社でした。まずここで商品として作られているコーヒー豆や商品の工夫などについて、いろいろな実験交えて説明いただきました。その後工場見学でしたが、食品工場ですから子どもたちもヘアキャップをしてヘルメットに簡易白衣を身に付けてスタートしました。スティックコーヒーの製造過程を見学しました。ほとんどの作業工程が機械化されていること、しかし点検は人がしていることなど知ることができました。

帰着時間が30分ほど遅れてしまい、ご心配かけましたが、充実した社会見学となりました。

